

新潟県リコーダー教育研究会 会報 H26-1号

平成26年 7月5日(土) 発行

さえずり



会長 小池 純夫
(南魚沼市立塩沢小 教頭)

音楽が「学ぶ力」を育てる

会長 小池 純夫

この春に、NHKスペシャル「人体ミクロの大冒険」の第1回「あなたを創る！細胞のスーパーパワー」というテレビ番組を見ました。その中で、アメリカ、ロサンゼルスで行われている「ハーモニープロジェクト」という取組を知りました。



これは、貧困層の子どもたちにバイオリンなどの楽器を無料で教えるというプロジェクトで、全米でも注目されているそうです。なぜ注目されているかということ、参加者の学業成績が著しく伸びているからです。極度の貧困もあり、半数以上の子どもは高校を卒業できないという地域の中、このプロジェクトに参加した子どもたちの大半が大学に進学しているのです。

この理由を科学的に調べていくと、楽器を学ぶことにより脳の中に次々新しい回路が作られ、神経細胞のつながりを太くしていたことが分かりました。太くなった神経細胞はたくさんの情報を高速で伝達できるようになったのです。音楽、この場合は楽器演奏が、脳の中の「学び」を司る神経細胞に大きく作用し、「学ぶ力」を伸ばしたことを知り、大変驚きました。

では、楽器演奏は必ず脳の「学ぶ力」を伸ばすのでしょうか？ はっきりした科学的な根拠はありませんが、多分、喜びや楽しさ、嬉しさなどのプラスの感情を伴わない楽器演奏や練習は、ほとんど効果がないのではないのでしょうか。ハーモニープロジェクトの子どもたちは、生き生きと喜びを感じながら演奏していました。

音楽室でも、そうありたいですね。子どもたちが、音楽の美しさや楽しさの本質を感じ取り、進んで、生き生きと表現できるなら、豊かな心とともに「学ぶ力」も育っていくことでしょう。すると、音楽は、学ぶことや生きることのベースとなる部分を育てる大切な教科だと言うことができます。音楽の時間は、音と子どもたちのプラスの感情を大切に、ていねいに表現させていきましょう。リコーダーの美しい音色やハーモニーが、子どもたちの「学ぶ力」や「よりよく生きる力」を育てることにつながると信じています。

さて、5月11日に総会が開かれ、例会、夏季研修会、リコーダーコンテスト、会報の発行など今年度の活動内容が決まりました。リコーダーコンテストは、昨年度に引き続き、南沼市民会館での開催となります。この1年間、当会の活動を一層充実させ、日々の音楽授業や私たち自身の音楽活動の充実につなげていきましょう。



平成26年度 新潟県リコーダー教育研究会 事業計画

- 理事会 4月 5日(土) 高齢者センター今朝白
- 総会 5月11日(日) 高齢者センター今朝白

上記、総会にて、今年度の事業計画が決定しましたので、お知らせいたします。

例会

各会で講師先生から指導をしていただきます。 ※ 敬称略

- ・ 春の総会 5月 11日(日) 講師 小池純夫
 - ・ 夏の例会 7月 5日(土) 講師 北村正彦
 - ・ 秋の例会 10月 4日(土) 講師 金子健治
- ※ 会員外にも参加案内をする。
会員外受講費：1,000円。
- ・ 冬の例会 2月 7日(土) 講師 本村睦幸



第41回 夏季リコーダー研修会

- ◆ 全くの初心者の方も安心してご参加ください。
- ・ 期日 **8月9日(土)・10日(日)**
- ・ 会場 魚沼市 小出郷文化会館
- ・ 後援 新潟県教育委員会(申請中) 魚沼市教育委員会 他
- ・ 受講料 12,000円(会員は、10,000円) 1日のみは半額。
- ・ 宿泊 **なし** ※希望者には斡旋(折立温泉 ホテル「ゆのたに荘」)講師を囲む会有り
- ・ 講師 金子健治・北村正彦 ※ 敬称略
- ・ **申込締切 7月18日(金)**

第40回 新潟県リコーダーコンテスト

- ・ 期日 11月29日(土)
- ・ 会場 南魚沼市民会館大ホール
- ・ 後援 新潟県教育委員会(申請中) 南魚沼市教育委員会 他
- ・ 審査員 … 金子健治・北村正彦・本村睦幸・栗岡秀明(県教委) ※ 敬称略
- ※ 案内・申込書は県リコーHPに掲載
- ・ **改善事項**…運営経費逼迫のため参加料を値上げする 他。
- ・ **申込締切 9月19日(金)**です。

会報

- ・ 年3回発行。各例会時
- ・ **会報はホームページ上で公開。**
- ・ 県リコーHP <http://music.geocities.jp/nrshomepage/>
- ・ **会員の皆様へ … 投稿記事をお寄せください。**日頃のリコーダー指導について一言アドバイス。一口メモ。こんな時にはこう指導する。リコーダー部運営・指導アドバイス。

その他

- ・ 平成26年度 役員一覧は、県リコHPをご覧ください。
- ・ **新会員の勧誘をお願いします。**
会の若返りと存続のために、みなさん一人一人が、自らの手で勧誘を。

全日本リコーダー教育研究会 報告

全日本 小池副会長

- ・ 3月30日開催の全日本コンテスト会場にて
- ・ 第36回 全日本コンテスト
会場：江戸川総合文化センター 期日：平成27年3月29日(日)
- ・ **全日本リコーダー教育研究大会** 今後開催地について
第39回 H26.11 北海道。第40回 H27 東京。
第41回以降、新潟県での開催を打診されました。
新潟県開催について、今年度から、是非も含めて検討していきたいと思えます。

クラシックストリート・長岡・音、おと、オトの街公演に参加して

上村 弥(矢代田小学校)

今年も5月に「新潟クラシックストリート」と「長岡・音・おと・オトの街」に参加しました。

年明け早々に参加の打診があり、12名集めたい、モーツァルトのセレナーデ(k v 375)をやる予定ということでしたが、今年は皆さん忙しいようで、5名の参加で、曲も変更せざるを得ない状況。曲も決まらないまま、1月19日、練習がスタートしました。

1月中に、ロンデッリ、サウンド・オブ・ミュージックと魔笛から何曲かという、大まかな方向は決まりましたが、学年末を控え、なかなか全員そろえることができません。一回一回の練習は楽しいのですが、ただ集まって吹いているだけといった感じは拭えません。それでも、ロンデッリはI・II・IIIだけでなく全曲やる、サウンド・オブ・ミ



ミュージックはギターを加える、魔笛のうち2曲は16フィートで吹くと徐々にきまり、ようやく進み始めたといった感じでした。

さて、吹く側としては、どうしてもロンデッリの練習に力が入ってしまいます。リコーダーの曲だし、コンテストでも吹かれるし、全曲吹くことは滅多にないし。次は、有名で、適当に難しいからやりがいもあって、洒落ていておもしろいので、魔笛。でも、お客さんは逆？ 超有名で、誰でも1度は聴いたことがあり口ずさんだこともあるから、サウンド・オブ・ミュージックを1番の楽しみにして来ている？ サウンド・オブ・ミュージックをいかに美しく聴かせることができるかが今回のキーポイント？

目玉？ 簡単な曲ほど難しい？ → 練習，練習。

本番で、何かこう雰囲気のある演奏ができたかどうか、いい感じでできたんじゃないかなとは思いますが、当日の録音をまだ聴いていないのでわかりません。雰囲気を感じさせる演奏，できるようにになりたいものです。

《補足：編集》

5月3日、「第4回 新潟クラシックストリート〜ラ・フォール・ジュルネ 2014 関連イベント」。会場は、NTT 東日本ショールームひかりパーク新潟 と 新潟国際情報大学 You & I。

5月6日「長岡・音、おと、オトの街 公演」。会場は、北越楽器駅前店 3階 ホール。

演奏曲は、H.U.シュティープスのロンデッリ 全5楽章。

サウンド・オブ・ミュージックから3曲。

W. A. モーツァルトの魔笛からオペラ・アリア5曲。

メンバーは、5人。皆川昌雄、小池純夫、亀貝隆、上村弥、樋熊三津男。

上村先生言われる通り、昨年同様の期待をしたら、12人とはいかないまでも、5人の勇士(有志)が集まってくださいました。

練習回数は、9回。昨年は10回。難しいロンデッリがあつたり、試行錯誤を繰り返したりしたせいで、9回になってしまいました。練習の段取りが悪く無駄な時間が費やされた面もありますが、メンバー・選曲・アンサンブル作りを振り返ると、一朝一夕に本番を迎えられたとは思いません。やはり必要な回数だったと思います。

しかし、…。来年もやるようでしたら、(多分やると思います。) **11月時点で参加者を募り、選曲決定し、見通しを立て、もう少し少ない練習回数で本番を迎えたいと考えています。参加希望がある方は、今から下記アドレス(樋熊)にその意向をお知らせください。希望のパートや曲も提案していただけると嬉しいです。**

会のアピールを兼ねての参加。新潟県リコーダー教育研究会の宣伝はできたかどうか…。メンバーの誰も、まだ録音を聴いていません。怖いですね。聴くのが…。



<<編集後記>>

今年度から、会員の声や日頃の実践の紹介を掲載していきたいと思います。1号につき4人くらい。400字程度。依頼を快くお引き受けくださるようお願いいたします。また、まだ寄せてくださっていない方からの自由な投稿をお待ちしています。

◆ こちらをお願いします。(*^。^*) mitu3tu@gmail.com です。編集 [樋熊]

